

令和8年3月3日

## 可能性にあふれた後輩に向けて

普通科ビジネスコース  
33H 平尾 三将  
鳥越中学校出身  
卓球部・商業部

私は、検定を受けることが好きで、一級を多く持っていることを自慢に思っています。しかし、過去には難しい問題が解けなかったり、解き方がまったくわからなかったり、書くのが遅かったりと、検定の難しさに心が折れそうになったことが何度もありました。それでも、自分自身の力を信じてひたむきに努力を続けてきました。何度も「自分にはできないのかもしれない」と勉強をやめたくなったこともありました。ここで諦めてしまったら何も残らないと思い、挑戦し続けてきました。

検定試験に向けて努力する中で、私は大切な力を身につけました。それは「あきらめない力」です。これは本番でも練習でも、とても重要なものでした。わからない問題は理解できるまで練習し、本番では一問でも多く解けるようになり組んできました。この経験は、私にとって大きな力となっています。この経験を通して、私は検定以外の場面でも簡単に諦めなくなりました。これから先の人生で壁にぶつかったとしても、「あの時乗り越えられたのだから大丈夫だ」と考えられるようになったからです。一つの挑戦に本気で向き合った経験は自信となり、次の行動を後押ししてくれるものだと感じています。

私が伝えたいのは、たとえ検定に落ちてしまったとしても、合格に向けた努力は必ず自分の力になるということです。高校生活はわずか三年間しかありません。結果が出るかどうかだけで挑戦を諦めず、努力の過程そのものを大切にしてほしいと思います。

後輩の皆さんの中には、努力しても結果が出せず、不安を感じている人もいます。しかし、努力はすぐに報われなくても、必ず自分の力になります。皆さんも、自分を信じて一歩を踏み出してみてください。

・進路先：株式会社キムラ電機

・資格検定試験取得級（3冠）

全商ビジネス計算実務検定	（電卓）	1級
全商ビジネス文書実務検定		1級
全商商業経済検定		1級

令和8年3月3日

# ビジネスコースで学んだ事

普通科ビジネスコース  
33H 藤谷 ころろ  
高尾台中学校出身

私はビジネスコースに入って、電卓の計算や Excel での表計算、Word でのビジネス文書の作成の仕方、ビジネスマナーといった、社会に出てから役立つ知識や技術を学びました。特に、正確さとスピードの大切さを学びました。電卓やパソコンの操作は、ただできれば良いのではなく、丁寧に、そして効率よく行うことが重要だと知りました。

最初に電卓が配られた時、ビジネスコースに入ったことを実感しました。これから何を学ぶのかとわくわくしました。電卓は使ったことがあったので使い方は分かっていましたが、知らなかった機能も多く、先生方が詳しく教えてくださいました。初めて Excel や Word を使った時は、覚えることが多くて大変でした。しかし、検定に向けて繰り返し練習することで、少しずつできることが増えていきました。

私が初めて 1 級を取得した時は、とても嬉しい気持ちになりました。それまで何度も問題を解き、間違えたらやり直すことを繰り返してきたので、努力が結果につながったことを実感しました。苦手な問題は先生方や友達に教えてもらいました。また、テストや検定の前には問題集を持ち帰り、家のパソコンで Excel や Word の練習をしていました。授業の合間には Chromebook で友達と「寿司打」というタイピングサイトを使ってタイピング練習もしました。

ビジネスコースで身につけた力は、これから社会に出ても必ず役に立つと思います。後輩の皆さんも、今は難しいと感じることがあっても、努力を続ければ必ず良い結果につながります。できないからといって諦めるのではなく、「できるようになった先には良い結果が待っている」という気持ちで取り組みれば、きっと頑張れると思います。ビジネスコースで学んだ努力する大切さと諦めない気持ちを忘れず、これからもいろいろなことに挑戦して、自分の目標に向かって頑張っていきたいです。

・進路先：ワンBOX スクール

・資格検定試験取得級（3冠）

全商ビジネス計算実務検定（電卓） 1 級

全商ビジネス文書実務検定 1 級

全商商業経済検定 1 級